

会 議 録

会 議 名	令和 5 年度第 2 回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	<ol style="list-style-type: none"> 1 第 9 期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画（野田市シルバープラン）の策定について（諮問）（公開） 2 第 9 期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画（野田市シルバープラン）の策定について（公開） <ol style="list-style-type: none"> (1) 介護保険法等の改正について (2) 第 9 期介護保険事業計画に関する基本指針について (3) 第 9 期野田市シルバープラン策定に係る各種調査の結果について (4) 第 9 期野田市シルバープラン策定に係る基礎的数値に関する考え方について (5) 現状把握及び課題について 3 地域包括支援センターの廃止及び指定介護予防支援事業所の指定廃止について（報告）（公開） 4 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定更新について（報告）（公開） 5 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定廃止について（報告）（公開） 6 地域密着型サービス等（地域密着型通所介護）事業所の指定廃止（域外）について（報告）（公開）
日 時	令和 5 年 8 月 2 3 日（水） 午後 3 時から午後 4 時 2 0 分まで
場 所	市役所高層棟 8 階 大会議室

出席者氏名	会長	鈴木 隆一		
	副会長	川島 信良		
	委員	中林 隆	古賀 晴美	豊田 義雄
		寺嶋 雪子	大用 菜穂子	遠山 康雄
		中村 綾子	白島 智子	高森 輝行
		山崎 美紀	江幡 吉生	鈴木 剛
		須賀田 貞彦	中山 道子	香山 啓
		澤田 健次郎	篠田 恵美子	藤井 愛子
		波戸 タカ子	三輪 秀民	天神 敏門
		高橋 武宜	鏡 浩美	内藤 公子
		事務局		
			鈴木 有	(市長)
		小林 智彦	(福祉部長)	
		山口 忠司	(高齢者支援課長)	
		吉田 陽子	(高齢者支援課長補佐兼介護認定係長)	
		鈴木 智子	(高齢者支援課高齢者支援係長)	
		小沼 綾子	(高齢者支援課介護給付係長)	
		山下 敏也	(高齢者支援課地域包括支援センター長)	
		田中 道男	(高齢者支援課高齢者支援係主査)	
		神吉 真帆	(高齢者支援課高齢者支援係主任主事)	
		雨宮 和也	(高齢者支援課高齢者支援係主任技師)	
		宮本 優里	(高齢者支援課高齢者支援係主事)	
		太田 蒼人	(高齢者支援課介護認定係主事)	
		三浦 明日香	(高齢者支援課地域包括支援センター主任主事)	
		宇佐見 有希	(高齢者支援課地域包括支援センター主任主事)	
		海老原 純一	(生活支援課長)	
	岡田 勇貴	(障がい者支援課長)		

	<p>田中 洋介 (社会福祉協議会事務局長)</p> <p>峯崎 光春 (保健センター長)</p> <p>小島 信明 (市民生活部参事兼国保年金課長)</p> <p>室井 忠頭 (株式会社アールピーアイ栃木)</p> <p>谷田部 徹 (株式会社アールピーアイ栃木)</p>
欠席委員氏名	<p>委員 秋田 茂 山名 裕里 森田 邦子</p> <p>柳田 信也</p>
傍聴者	2名
非公開の事由	—
議 事	<p>令和5年度第2回野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画推進等委員会の会議結果(概要)は次のとおりである。</p>
鈴木会長	令和5年8月23日 午後3時、開会を宣言
市長	市長挨拶
鈴木会長	新委員の江幡委員を紹介した。
高齢者支援課長補佐 兼介護認定係長	<p>欠席及び遅参の委員を報告した。</p> <p>会議録作成のため録音機を使用することを報告するとともに、発言について説明した。</p> <p>審議の公開について報告した。</p>
鈴木会長	<p>会議の成立を報告した。</p> <p>傍聴について説明した。</p>
鈴木会長	<p>議題1第9期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画(野田市シルバープラン)の策定について(諮問)</p>

市長	鈴木会長に諮問
鈴木会長	<p>諮問書の写しを委員に配付</p> <p>事務局から諮問要旨の説明を受けた。</p> <p>市長が退席の旨を周知</p> <p><市長退席></p>
鈴木会長	<p>議題2第9期野田市老人福祉計画及び介護保険事業計画（野田市シルバープラン）の策定について</p> <p>事務局から説明を受けた。</p> <p>質問等を委員に問うた。</p>
大用委員	<p>資料の8ページ、一般介護予防事業調査について、今日、私どもの法人も、午前中にえんがわを開催したが、えんがわを設置しているところが増えており、とても良かったと思っている。このような施策を作っていただき感謝する。</p> <p>資料の2ページ、「(5)地域包括支援センターの体制整備等」のところに、「要支援者に行う介護予防支援について、居宅介護支援事業所（ケアマネ事業所）も市町村からの指定を受けて実施可能とするなど」とあるが、先ほどの説明の中で、総合相談という言葉が出てきたのだが、総合相談も居宅介護支援事業所にお問い合わせということなのか。</p>
高齢者支援課長	<p>私どもも、今のところ国の社会保障審議会介護保険部会の資料等から読み取っている段階であるが、そちらを見ると、プランの作成のほかに、総合相談につい</p>

<p>大用委員</p>	<p>ては、一部を委託できると書かれている。私どもも、現段階ではそれ以上の詳しい情報は把握していない状況である。</p> <p>それでは、将来は総合相談も居宅介護支援事業所にお願いするようなこともお考えということなのか。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>そういうこともあるかと思う。</p>
<p>大用委員</p>	<p>それは、何か加算のようなものを付けるなどになるのか。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>その辺りについては、まだ詳細が示されていないので、今日の段階ではお答えできない。</p>
<p>大用委員</p>	<p>居宅介護支援事業所もとても忙しいので、総合相談をただでやってもらうのはどうかと思うので、その辺のことを考えていただけると有り難い。</p> <p>それと、介護予防支援の受け手がとても少なく、私たちお願いする方もストレスで、断らなければいけない居宅介護支援事業所もストレスになっている。昨日、関宿管内で、シニアカーでスーパーの駐車場で転倒していた方がおり、私どもの法人の看護師が居合わせていたため、「ケアマネジャーはどちらですか。」と聞いたら、その方は近隣で受け手がなく、春日部の居宅にお願いしていた方であり、「ケアマネジャーは遠いから、呼んでもすぐに来ないから役に立たない。」と怒られてしまった。近隣で受け手がないと、遠いところの居宅介護支援事業所にも頼まなければいけな</p>

	<p>い現状があり、介護予防支援の受け手を具体的にどうしたら良いのか、本当に市内で介護予防支援をやるということを明確に考えていかなければいけないのかなと思う。しわ寄せが行くのはやはり利用者だと思う。</p> <p>それと、ケアマネジャーの高齢化も心配しており、ケアマネジャーがいないと介護保険のサービスの利用もできないので、その辺のところも皆で考えていかなければいけないと思うということと、制度の中に組み入れて、スムーズにいくような何かを考えていかなければいけないのではないかというようなことを考えて、感じている。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>ケアマネジャーの関係については、これまでもいろいろなところで御意見、御質問を頂いている。なかなか野田市だけでは解決できない問題であるというのも正直なところなのだが、市として何もできないということではなく、市として何かできる対策があるのかというところで、例えば近隣市の状況を調査したりし、今後市としてどういったことができるのかということは検討していきたい。</p>
<p>白島委員</p>	<p>今の包括の話だが、この推進等委員会で包括の現状みたいなものが話に出ても仕方がないと思う。地区別会議から包括会議などにより、現場での問題点みたいなものを市が抽出していかなければいけないと思う。その辺が、申し訳ないのだが、野田市は機能していないかなと思う。この推進等委員会で、諮問の時点で、今のような現場の話が出てくるというのでは、ここの中ではまとめきれない。</p>

	<p>今、包括から話が出たケアマネジャーの不足というのは本当にそうである。私どももかなりの募集をかけても全く来ない。</p> <p>質問させていただこうと思うが、予防のプランを居宅ができるようになることについて、委託するとおっしゃったのだが、委託ではないと思う。指定を受けて、居宅が直接やるということではよろしいでしょうか。</p>
高年齢者支援課長	<p>まず、プランについては、居宅介護支援事業所が市町村の指定を受けて実施することができるようになるということ。もう一つは、総合相談については、その一部を居宅介護支援事業所等に委託することを可能とするという記載になっている。</p>
白島委員	<p>予防のプランが委託とおっしゃったように聞こえたので、確認させていただいた。</p> <p>もう一つ、介護人材不足。いずれにしても、やはり人口は減り、介護する側が減っていく。しかしながら、高齢化するということで、地域包括ケアシステムを含めて、介護人材の不足をどうするか。今、私も野田市といろいろやらせていただいているが、これからの連携は、情報システムも含めて進んでいくと思う。だが、就職説明相談会もこれから予定はされているが、なかなか聞きに来てくれる人がいない。そうすると、予算立ても含めて、人口の推移、高齢化率、それと介護人材不足をこのデータから見て、早急に野田市が考えなければいけないのは、介護する人をどうするかということを進めていかなければいけないのではな</p>

高齢者支援課長	<p>いのかと思う。</p> <p>もう一つ、賃金のアンケートをとられてデータに載せられているが、満足していたり、まだまだ不満だったりというところがあるのだが、例えば施設の賃金は、夜勤があるので結構もらえる。年収としても結構高めにももらえる。ただ、ケアマネジャーを含めた在宅サービスに関しては、まだまだ低いと思う。私も介護の会社をやっているのだが、在宅は夜勤がない分、賃金が足りないのではないのかと感じる。だから、アンケートをとるときに、一律で介護職員と考えずに、在宅サービスは、施設のサービスとは賃金が違う、そこでやっている本人たちが満足しているのか、不満なのかというところはデータ化し、そうでなければ、その先25年、30年、45年といったときの名案が出てこないかと思う。</p> <p>最後にもう一つ、このシルバープランで考えていただきたいのが、BCPに関してである。実は事業者協会では、BCPの研修を5回実施したが、やはりその5回の研修だけでは足りないもので、市としてもBCPをどうするのかとか、実際に災害が起こったときにどうするのかということも含めて、まだまだ事業所だけでは分からないところがあるので、その辺を共同してやってほしいと思う。</p> <p>介護人材、アンケートの賃金の関係及びBCP、いろいろ御意見を頂いたが、市としても、なかなか情報提供が十分でない部分もあるかもしれないので、そういったことは見直していきたいと思う。</p> <p>アンケート等についても、おっしゃるように実態が</p>
---------	---

	<p>把握しやすいような形での質問の設定や、調査自体は3年に1回ということにはなるが、次回実施するときにはそういった点も踏まえて質問項目等を考えていきたいと思う。</p> <p>介護人材の話について、市でも9月9日に事業者協議会と共同で就職相談会を実施するが、確かに最初で開催したときと比べて、昨年度の参加人数が少なくなっている。PRの時間も少なかったということもあるかもしれないが、そこを今年はできるだけ多くの人に参加していただいて、就職につなげるのはもちろんなのだが、介護職のイメージアップというか、そういったところも図れればと思っているので、その点については今後も市としても力を入れてやっていきたいと思う。</p>
白島委員	<p>冒頭で私が言ったところなのだが、包括を中心に現場での実際の困り事みたいなものを吸い上げていって、推進等委員会でそれをどうするか、こうしたら良いのではないかとすることを市が提案していくという会議だと私は思っている。だからもう少し吸い上げる力というか、そういうものを確立してほしいと思う。</p>
高齢者支援課長	<p>確かに、地域ケア会議が十分でなかったところもあるかもしれないので、そういったところから意見を吸い上げて、なかなかすぐにどの程度施策に反映できるかは今のところは言えないところではあるが、皆様の意見をできるだけ吸い上げて、それをこういったところに反映させていくという形で実施していきたいと思う。</p>

<p>天神委員</p>	<p>こういう施策を策定する上では、マクロ的な見方とミクロ的な見方の両面から考えていくことがとても大事だと私は思っている。ここの資料の5ページにある各種調査について、3年に1回継続的に同様の質問をされていると思うのだが、この資料だけ見ると、令和4年度の調査の結果は分かるのだけれども、これがどういう評価なのかがよく分からない。例えば、5ページの健康状態が『よい』というのが77.8%、これはすばらしいのか、それともほかの市と比べてそれほどでもないのか、あるいは前回の調査に比べて良くなっているのか、悪くなっているのか、それによってこういう施策というのにも重点を絞って変えていかなければならないということをやっているか、すばらしいと言えばすばらしいけれども、そうでないのかもしれないということなので、これから具体的な施策を策定していく中で、是非これまでの調査結果の変化、良くなってきている、あるいは悪くなってきている、良くなってきているということはこれまで市でやっているいろいろな施策が、効果があるのだという評価の一助になるだろうと思うし、この辺りをもう少し深掘りして、是非、その辺りを説明の中に加えていただいて、我々の議論に載せていただければと思う。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>今回の資料等や私の説明も、かなり概略的なものになってしまったが、今委員に御指摘を頂いたように、これまでの状況を踏まえて、市の方としてもまた改めて分析を進めていきたいと思う。</p>

<p>三輪委員</p>	<p>二点ほど質問したいと思う。</p> <p>資料の1ページ目、2の(3)「介護サービス事業所等における生産性の向上」という文言があるが、何か具体的に列挙されているのか。例えば、介護人材がどんどん少なくなっていく中で、もう少し介護ロボットを導入するなど、あるいはプランを作る際に、もう少しパソコンだとかそういった力を使ってなるべく効率よくやるなど、具体的にどういうことが示されているのかということが一点である。</p> <p>次に6ページの、「(2)在宅介護実態調査」の中で、特別養護老人ホームに入りたい希望として、要介護3以上というのが書かれているが、今野田市は高齢化が進んでいると一般的には思われるのだが、そうなった場合に、特別養護老人ホームの待機者というのは現状どうなっているのか、増えているのか、あるいは減っているのか、その辺の現状について教えていただければと思う。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>まず、一点目の1ページの生産性の向上の関係なのだが、今回、国の方で、具体的にというより、生産性向上の取組を進めるためには、一つの事業者のみの自助努力だけでは限界があるということで、地域単位で、モデル事業所の育成や取組をし、それを他に広げるといふ取組が必要だと。一方、事業者より、地域においてどのような支援メニューがあるのか分かりにくいという声がある。国は、今後、都道府県を中心に一層取組を推進するため、都道府県の役割を法令上明確にするといふことと、都道府県の介護保険事業支援計</p>

	<p>画において、県の方が介護サービス事業所等における生産性向上に資する事業に関する事項を任意記載事項に加える改正を行うということだが、現在、都道府県から介護現場に対する生産性向上に係る支援の取組の広がりが限定的となっているという反省点があるということで、そこを県の方で一層取り組むというところが今回の主旨になっている。先ほど介護ロボットとかそういった話があったが、まだ具体的にそういったところまで示されているということではない。</p> <p>二点目の特別養護老人ホームの待機者なのだが、申し訳ないが、待機者のデータの持ち合わせがない。待機者の人数自体は大きくは変わっていないと考えている。</p>
鈴木会長	<p>他に質問等を委員に問うた。</p> <p>質問等なし。</p> <p>議題2について、了承としてよいか。</p>
	<p><異議なしの声あり></p>
鈴木会長	<p>議題2は説明のとおり了承した。</p>
鈴木会長	<p>議題3 地域包括支援センターの廃止及び指定介護予防支援事業所の指定廃止について（報告）</p> <p>事務局から報告を受けた。</p> <p>質問等を委員に問うた。</p>
三輪委員	<p>この廃止の理由がよく分からないというか、2年前にできて、今まで人員もそれぞれ専門職が配置され、それで事業をやってきたのでしょうけれども、ここに</p>

<p>高齢者支援課長</p>	<p>来て急に人員が配置できなくなったというのは、全員退職してしまい、それでその補填ができないということなのか。</p> <p>それから、1人、2人の理由で駄目になったのか、残っている人はどこに配置されるのか、その辺のところが気になるところである。</p> <p>今回の南第2地域包括支援センターだが、地域包括支援センターは、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種の方がそろっていることが条件になっているのだが、今回こちらの地域包括支援センターについては、その3職種いずれも、3人の方が退職されてしまったということと、指定介護予防支援事業所も、ケアマネジャーが退職されるということで、なかなか後任の方を新しく補充することが難しい状況になってしまった。3職種全員がいなくなると、今後の支援業務に影響があるので、それで事業所の方で廃止ということで、市の方としても継続が難しいという判断をして廃止ということになった。</p>
<p>高森委員</p>	<p>南第2包括が閉設後、およそ2か月が経過したと思うのだが、この間、私も委託包括職員の1人として、基幹型包括の職員との連携というのが、非常にやりにくくなってきているという印象を受けている。そんな中、「当面の間、高齢者支援課地域包括支援センターが実施」とあるが、当面の間というのは、実際にどれくらいを想定しているのかを教えてください。</p>
<p>高齢者支援課長</p>	<p>実際に新たに委託をお願いできるか、今のところ見</p>

	<p>通しがなかなか難しいというのもあるので、はっきりしたことは申し上げにくいのだが、我々としては、当面というのは、できれば来年度には新しいところに委託をできればと、それぐらいを目途に委託をできればと考えている。</p>
鈴木会長	<p>他に質問等を委員に問うた。 質問等なし。</p>
鈴木会長	<p>議題4 地域密着型サービス等(地域密着型通所介護)事業所の指定更新について(報告)</p> <p>事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。</p>
鈴木会長	<p>議題5 地域密着型サービス等(地域密着型通所介護)事業所の指定廃止について(報告)</p> <p>事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。</p>
鈴木会長	<p>議題6 地域密着型サービス等(地域密着型通所介護)事業所の指定廃止(域外)について(報告)</p> <p>事務局から報告を受けた。 質問等を委員に問うた。 質問等なし。</p> <p>午後4時20分閉会を宣言</p>